

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担当課：都市局街路交通施設課
担当課長名：本田 武志

事業名	連続立体交差事業 京浜急行大師線（小島新田駅～鈴木町駅間）		事業区分	連続立体交差	事業主体	川崎市
起終点	自：川崎市川崎区田町2丁目 至：川崎市川崎区鈴木町				延長	2.4 km
事業概要	京浜急行大師線を連続して立体化することにより、小島新田駅から鈴木町駅間の2.4kmにおいて、10箇所踏切を除却し、交通渋滞及び踏切事故の解消、交通渋滞に起因する騒音や大気汚染等の環境改善、加えて、鉄道施設によって分断された地域の一体化の促進を図る。					
平成5年度事業化	平成5年度都市計画決定	平成8年度用地着手	平成18年度工事着手			
全体事業費	1426億円	事業進捗率	38%	供用済延長	km	
踏切交通遮断量	103,090台/日（産業道路第1踏切）					
費用対効果分析結果	B/C 1.02 (事業全体) 1.02 (残事業) 2.12	総費用 (残事業)/（事業全体） 712/1480億円 事業費：712/1480億円 維持管理費： / 億円	総便益 (残事業)/（事業全体） 1509/1509億円 走行時間短縮便益：1504/1504億円 走行経費減少便益：8/8億円 交通事故減少便益：-3/-3億円	基準年	平成29年	
感度分析の結果	(事業全体) 交通量：B/C=0.92～1.12(交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.90～2.33(交通量 ±10%) 事業費：B/C=0.93～1.13(事業費 ±10%) 事業費：B/C=1.92～2.35(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.02～1.02(事業期間±20%) 事業期間：B/C=2.11～2.12(事業期間±20%)					
事業の効果等	10箇所の踏切除却（うちボトルネック踏切2箇所）					
関係する地方公共団体等の意見	・特に無し					
事業評価監視委員会の意見	・市民から事業進捗状況に関する意見や早期の工事完成要望等の意見が寄せられており、1期区間（川崎大師駅～小島新田駅）の整備に当たっては、引き続きコスト削減を図りながら、効率的・効果的な手法による着実な事業の推進が必要である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・沿線住環境の変化により沿線人口、乗降客数が増加					
事業の進捗状況、残事業の内容等	・1期①区間（東門前駅～小島新田駅）⇒平成30年度産業道路立体交差化、平成31年度完成予定					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・1期①区間（東門前駅～小島新田駅）完成後、継続して1期②区間（鈴木町駅～東門前駅）に着手予定					
施設の構造や工法の変更等	・1期②区間（鈴木町駅（現在線）～東門前駅）は、川崎大師駅付近（延長500m）を対象に、仮線工法を一部適用しコスト削減を図る。					
対応方針	継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性、事業見通し、費用便益比の算出結果などから事業を継続する。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。